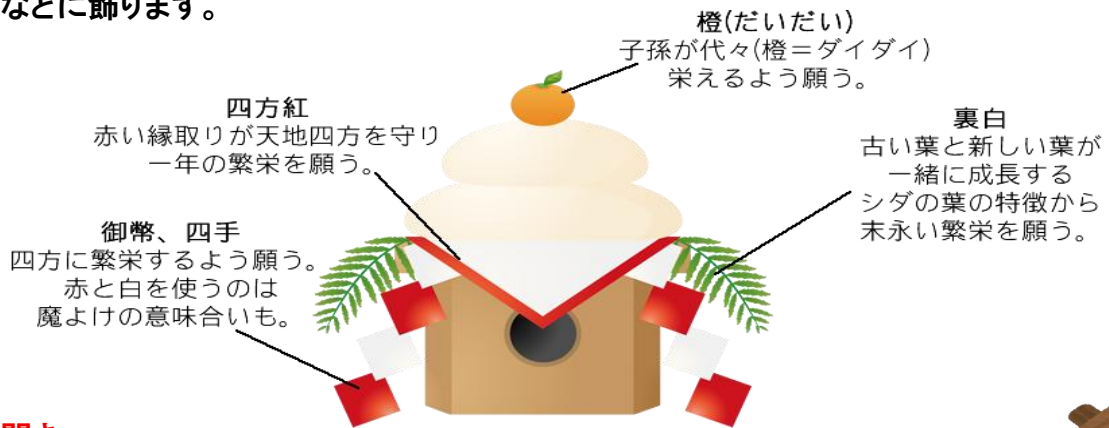


鏡もちと鏡開き

正月は、1年で最初の行事です。1年のはじまりを祝い、**一家の健康と幸せを祈ります**。正月には、鏡もちをお供えする家庭も多いかと思います。正月にお供えする鏡もちと鏡開きについて、見てみましょう。

鏡もち

鏡もちは、年神様を迎え入れるために神仏の前や床の間などに飾ります。



鏡開き

鏡開きでは、1月11日に年神様にお供えしていたおもちをおろして、木づちなどでたたいて小さくし、おしるこなどにしていただきます。お供えしたもちなので、**刃物で切ることは避けます**。もとは武家社会の風習で、鎧や兜などの具足にお供えしたもちを雑煮などにして食べたことが由来だそうです。



子供たちに伝えたい年中行事と行事食

「行事」の「行」と「事」は、もともと「まつり」という意味があるといわれています。年中行事は、江戸時代の中期以降、一般庶民にも定着し、現在わたしたちが行っているような原型が次第にととのえられました。

年中行事と行事食は切り離せないもので、それぞれの行事には、**食を媒介した健康への願いが込められている**といえます。

